

## 建設産業委員会おでかけ委員会会議録

平成 26 年 6 月 23 日 (月)

場所 中組会所

午後 7 時 00 分 開会

### 1. 委員長挨拶

○中川健一副委員長

【第 1 回 J R 半田駅前地域まちづくり実行委員会開会宣言】

○竹内元章氏

【挨拶】

### 2. 規約・名簿について

○中川健一副委員長

【資料に基づき説明】

○竹内元章氏

補足説明

J R 高架のまちづくり勉強会に引き続き、区長さん、住民のみなさん、商店街のみなさんと話し合いを持つべき場として委員を選定。現在ミツカンの宮原和明様へ委員依頼はしてあるが、会社と相談して正式に返事をいただくことになっており、了承を得られたら入ってもらう予定。

○中川健一副委員長

【規約を変える場合は役員会において変更する旨説明。規約、名簿については拍手を持って承認し、発効したことを確認】

### 3. 作業部会の活動報告

○竹内元章氏

【作業部会について J R 半田駅前地域まちづくり実行委員会作業部会会議録 に基づき説明】

### 4. 建設産業委員会の活動報告

○中川健一副委員長

【資料 課題に対する対応例 に基づき説明】

○竹内元章氏

委員長としての今の考えですが、今後の流れは、作業部会ででた意見を実行委員会に諮り、それについてみなさんに課題の確認をしていただき、またそれについて対応例、アイデア等を出していただき、対応例の資料が一杯にしたい。

今後内容が多岐にわたると思われる為、人づくり、教育、高齢者問題などのコミュニティと、観光、ハード 3 つくらいにカテゴリを分けて意見をまとめていきたい。その中ですぐにできること。中期的に時間をかけること。長期的に時間をかけること。を実行委員会で考えて実施していきたい。

まちのイメージについて (意見)

○杉木伸行氏

古い街の反面、本当に古いものは無くなっている。県外からマンションに越してきた方が、子どもを地元で遊ばせるにはどこがいいのかわからないと言っていた。外から来た人たちも悩んでいる、そういったところをわかりやすくした方がよい。

○竹内元章氏

作業部会でもママ同士が集まったり、子どもが遊ぶ場所が無くなっていて、コミュニケーションづくりが難しくなっているという意見がでた。

ミツカンの新しくなる建物は公園のようにフリーで入れるスペースもあるのか。

○大山商工観光課主幹

フリーのスペースもあるが入口は1カ所となっていると聞いています。

○竹本久郎氏

人、子どもがいない。駅は放置自転車などがあり、きれいにされておらず、駅から降りたときに、街に対し期待感が持てない。

○新美保博委員

コンスタントに子どもがいる街というのはかなり難しいのでは。波はあるものだと思う。

○竹本久郎氏

ここで育った人も、いい場所であれば帰ってくると思う。

○竹内元章氏

作業部会で、一度引っ越したが、また戻ってきた人の話がでた。なぜここへ選んだのか、戻ってきたのか意見を聞くとそこにキーワードは隠れてきているかもしれない。

子どもが住める街は安全な街だと思う。そういう街づくりに向けてアイデアを出していきたい。また、世代によって住み替えのサイクルをつくれないうか、という意見が前回の作業部会の後にでていました。若く家族が多い時は広い家で、老夫婦になればマンションへという住み替えを促すのも1つ。

○京才泰直氏

短期的にできることはこのまちの財産をどう使っていくかということ。例えば中組の山車、これは中組さんの協力がなければ普段見ることができない。毎週末お囃子の音が聞こえる街になれば、すごいことだと思うが、それにはここに住んでいる人の努力が要る。それでも地域の子どもたちを巻き込んで、囃子という伝統文化を継承していけるように、うまく持っていければと思う。横須賀の街は、会所が街の真ん中にあり、練習風景が見えて、囃子の音が聞こえてくる。とてもいい雰囲気です。

また、末廣亭については浅井さんに話をして、普通の営業ではなく、あの場所を使った地域の活動で活用していく。そこから入っていくべきだと思う。ミツカンM I Mがオープンした時に、J R半田駅からの動線をどうしていくのか。例えば地域のお年寄りが子ども向けに週末駄菓子屋をやるといったことも、コミュニティをうまく使えばやれると思う。また、次へのステップアップはあると思いますが、このエリアが動き始めたというメッセージを送るにはいいことだと思います。

ただ、マンションは個人的にはあまり建てない方がいいのかなと思うが、それは全体の計画の中で、中高層エリアと低層エリアをしっかりと街をみて考えていけばいいと思います。

○竹内元章氏

J R 駅前の効果に伴いどうなるか時期がきたら、教えていただきますようお願いいたします。

○鈴木康史氏

難しく、簡単にはいかないことが多いと思う。ただ、昔に戻ることはできないので、この会でいい方向へ進めていけたらと思う。

○堀場宗雄氏

イメージはまだわからないが、駄菓子屋ができて子どもが周りで遊ぶようになればいいと思う。昔と比べてすみやすさが変わっているとは感じない。

○新美保博委員

まだ、煮詰めた話をしたわけではないから、どこを切り口にしてどう進めていくか、イメージはできていません。ただ、思いを全部言わないと前へ進めませんので、もう少し続けて言いたいことを言って、後から整理をしていく。整理の仕方は先ほど竹内委員長の言われたやり方でいいと思う。結局はソフトとハードの面があるし、それから観光、人づくり、いろいろやっていかなければいけない。気になっていることは、どこの地区にも言える問題がある。例えば地元と新しい人との境について、僕はあまりよくわからない。あまりいい言葉ではないかもしれませんが、乙川では俗にいう本郷、枝郷といたりしますが、もともとの乙川地区に住んでいた人、そこからでた人との感覚の違いはそんなになんかと思う。何をもって地元、何をもってそうでないとするのかあまりよくわからない。

また、どこへ行っても住めば都で、足りないものは言い出したらきりがない。何年住めば都と感ずるのかこれも感性の問題かもしれないが、整理していかないといけない。

○沢田清委員

先ほど意見として挙がったお囃子が聞こえてこない、という話ですが、この地域で月に1度練習するようなことはないでしょうか。成岩では毎月1日に月次祭といって囃子が成岩神社に動いていきますが、そういう光景はありませんか。

○竹内元章氏

夏は閉め切っているので音が漏れないかもしれません。春、祭りの季節のいい時には近所にも響き渡っていると思います。

○杉木伸行氏

我々は月に一度第3日曜日にやっています。

○沢田清委員

そういう昔のものを残しつつ、古いものと新しいものの融合、場所はないが必要な施設があるなど、方向性はだんだん絞っていかねばならないと思う。新しい大きなものを置くよりは、既存のものを活かしていきたいということは伺いました。

○鈴木好美委員

作業部会の議事録にあります、商店街が個性的で入りづらいというのが印象に残っています。僕が住んでいるところは土井山です。大きな店がたくさんあり、いろんな人が来ますが、お客さんが入る店は、例えば居酒屋にしても、ただ、居酒屋をやっているというだけではいけないだろうし、手を加える必要はあると思います。初めから、暗い暗いと言っているのは

暗くなるばかりですし、人の目につく工夫を考えながらやっていかないと、今までと同じでは違いうらうし。

#### ○竹内元章氏

確かに今の若い人は、チェーン店など、メニューを開けば値段があつて、明瞭会計という店に行きたがると思います。それだけじゃなく、店の人と話したりして、例えば私も布団の専門店をやっていますが、来てくれたお客さんに自分の思いを伝えて、それに共感してくれた人が商品を買ってくれて、それを笑顔で送り出すという風にやっています。例えば、半田ではありませんが、おばあさんがぼつーんと店番をしているようなお店を見ると、お客さん入ってくるのかなと心配になります。ある程度店の努力は必要になると思います。この商店街も高齢化が進んでいますので、入りやすい店にしようねと、ポップを建てるなど、入りやすい雰囲気而努力していますが、なかなかね。作業部会でも話がありましたが、小さい店でもいいから、若い人が若い感性でやってくれる店が集まってくると賑わいもでてくるし、入りやすい商店街になると思います。もし、JR高架化がされたら、千種の高架下のように柱と柱の間に小さい店を入れてもらうようにしたらうれしいです。駐車場だと駐車場だけになってしまいますので、あくまで、店があつて人が集まるように。また、若い人がチャレンジで店を出しやすいような補助をしてもらうなど、ここを特区化してもらって、一大イベントとしてやってほしい。そうするとここにいる商売人の意識も変わってくると思います。

うちのお客さんでも、カクサンという名前は知っていたが、初めて来たという人は多い。あれだけ入りやすくしたつもりですが、まだ敷居が高いのかなと思います。

今3代目、4代目と変わっていますが、商売人も変わっていかないと、消費者の好みや求めるものに追いついていかないと、いつまでたってもやっていけないかなと思います。

#### ○柴田哲治氏

デフレの価格に対する通販が流行って、付加価値がつけられないと厳しい。飲食などのサービス業についても価格競争がある。半田だけでなく、地球規模でインターネット商店が競合となっている。

新しい街でも会議をやれば、こういう不満はあると思います。逆にお隣同志庭はあるが、どんな人が住んでいるかわからないという不安も持っていると思います。この街が成り立っていくにはやはり、駅がある。それから半田の中でも有数の通勤通学で人が歩く街。病院もある。市役所もある。その中で活かしていかなければならないのは酢の里、国盛、運河。半田で他に面として観光客がよそからくる所はどこかと言えば、南吉の辺だけだと思います。亀崎も祭の時期はいいですね。そう考えるとこの街は観光的にはまだ活かしていけるものがあると希望を持って行かなければならない。

#### ○中川健一副委員長

来年作業部会があるときに、いくつかこの街に変化があるが、観光も含めて、この街に多い飲食、おもてなし、先ほどの駄菓子屋など、実験的なものを誘導的にやって努力を続ける。そこで成功すれば次につながる。

#### ○岩田玲子委員

住む人にとってはどう思うかわからないが、この辺が蔵のイメージなので、蔵の茶屋のよ

うな、統一した雰囲気を作っていくことは、ワクワクした楽しい雰囲気になるのではないか。統一した街の雰囲気を大切にしたい街づくり。ただ単にJR高架化をするだけでなく、じっくりとした色にしてもらいたいとか、そういったところからつながった統一感のある、かつ、新しく電柱の地中化をするなどしたらいいと思います。面整備をするときに道路、歩道の雰囲気は今なら決められると思います。そういうことにも希望を出して、どういう雰囲気にしたいのかをイメージして考えていくといいと思います。

○柴田哲治氏

100年かけて統一した雰囲気になるのであればいいと思うが、今作ったら、映画の施設のような作り物になってしまうと思います。商工会議所の前の店でも、表を隠して、瓦まで隠してしまっていますが、あれをとれば昭和の時代になるから、昔のものを活かしたり、御幸通りだけは電信柱を木にするなど、蔵のイメージはミツカンの辺りだけなので、強引にやると失敗すると思う。なるべく、木造の町屋的な部分を表に出してもらおう。そういうやり方ないと、見抜かれてしまうと思います。

○小出義一委員

今、大矢知に住んでいます。小学校が25周年で住み始めたころは全く何もなかったところですからコミュニティを新しくつくってきた街です。コミュニティはできてきたかな、という所ですが、文化や伝統はまだまだ無縁です。そういった面ではこの地区は培われたものがあり、そこが一番の魅力だと思います。お囃子の音が聞こえるのも、そういったものがあるからこそです。子どもが新しくお囃子に入ってこなくなってしまうと、途絶えてしまいますので、子どもが暮らしやすい街を目指すし、この街の魅力を継承していくとすれば、短期ではできませんが、どう作っていくのか根底にあればうれしいなと思います。

○榊原市民経済部長

ここはもともとポテンシャルが高い。ここでみなさんがちょっとおもしろいことをやれば変わると思います。今、みなさんの話を聞いていると、やはり街は女性が暮らしやすい街、男は仕事に行くケースが多いので、住む場所を選ぶときに奥さんが気に入る街、子どもが好きな街を選ぶと思います。そうすると残念ながらここには岩田玲子さんしか女性がいませんので、女性の視点、考えをきちんときくことが大事だと思います。後は若者が住みたくなる街をつくらうとしているときに、若者がいない。若者に聞く場を設けなければならぬとつくづく思いました。また、言葉で話していてもイメージがわからない。だから地図上で、自分が住民だったら、ここでこういうことをしたら楽しいよね、自分が観光客で来たとしたらどういう動線でどうやったら楽しいよね。というシミュレーションをしながら意見を盛り上げていった方がどんどん考えがでてくると思います。

○笠原建設部長

住んでよし、来てよし、遊んでよし。個々の地域で歴史を考える中で他の地区に無いもの。例えば芸者文化など、ほかにはない、新たな取り組みを考えないとなかなか生き残っていかないと。

先ほどの商店街に入りづらいというのは否定的な意見ですが、逆にこれを活かして、地元の同年会に入りづらいですとか、こういうものも逆手にとって何か特色が出せればと思いま

す。青山は何もない所に区画整理をして新たな街を作っているのです、確かに人は集まっているかもしれない。しかしJR半田駅前だとか、こちらに比べると味が無く、個性が無いように感じます。この地区の個性を活かしたまちづくりをすべきかなと思います。ただ、方向性がまだ見えづらいというのが現実かなとも思いますので、そういった議論を重ねてみんなで意見を出し、方向性を定められれば良いかなと思います。

○柘植都市計画課長

こうやって地元の方と意見を出しあって進めていくというのは非常に大事なことです。JR半田駅前地区ということで、やはり駅は人が集まって出ていく人もいれば入っていく人もいます。この街をなぜか通過していく人も多いという声もあったと思いますが、そういう人たちがこの街の印象をどう持っているかを聞いてみるのもいいかなと思いました。

○大松市街地整備課長

交通量が多い大きな通りに華やかな看板がついているようなところが賑やかになっているというのがあると思いますが、JR半田駅前はそのような街にはできないし、ならないと思います。そうすると歩いてもらう街なのかなと思います。

○大山商工観光課主幹

観光の視点ですと、来年MIMがオープンされると、10万人以上の方が来られることが想定されています。それをどう生かしていくかだと思います。例えば昔は酔の里にみえた方が次にどこに行けばよいかわからない、という声がありました。本当は商店街等に流れてくれたらというところを逃してしまったというようなこともあったと思います。そういう部分を情報交換しながらいかにつなげていくかが非常に大切だと思います。

○小野田商工観光課長

この街が栄えた時代は、職場が近く、元気な方が集まってくる街だったと思います。今、この地域で商売をしている店舗名は、例えば私は岩滑に住んでいますが、何をやっている商売かとわかるお店が今も残ってくれている。その反面、企業もJR駅前にバスが降りても、この地域に何があるかわからない。情報が得られないというのを聞きます。そうすると例えば忘年会や歓送迎会で本来なら使ってもらえるお店もありますので、もう一度働く場と、元気な人を結びつけるきっかけができればと思います。

○竹内元章氏

今みなさんから多岐にわたる意見を出していただきました。ありがとうございます。作業部会でも同じような意見がでてくると思います。ただ意見があまりにも広すぎると整理がつかみませんので、作業部会でカテゴリを作ってそれに沿って話を進めて、この実行委員会にかけて、その中で短期、中期、長期でやっていくことを考えていただければ、後は住民でやっていきます。

月に1回でやっていますが、場合によっては月に2回開催することもあるかと思いますが、みなさんに協力していただいて、今後の流れを作りたいと思います。

## 5. アンケートについて

○竹内元章氏

作業部会でもアンケートをしてはという意見がありました。昔、鉄道高架に関するアンケ

ートなど2つくらいアンケートを実施しました。出てくる意見はそれと一緒にかもしれませんが、直近が5年前となりますので、もう一度とりたいと思います。ただ、個人的な意見ですが、住民の方プラス半田小学校のお母さんや子どもさんにも参加をお願いして、地域外の方の意見を聞きたいと思いますが、いかがでしょうか。

【「はい」と呼ぶ声あり】

○柴田哲治氏

アナログの方法と、HPからやる方法もあるので、両立したほうが良いと思います。

## 6. その他

○中川健一副委員長

今回は7月16日夜7時から予定させていただきたいと思います。

○榊原伸行委員長

みなさん、大変ご苦労様でした。連絡を1つ。7月9日午後3時30分から議員勉強会を開催します。長浜まちづくり株式会社の吉井茂人氏をお迎えしてお話しをお聞きします。

方向性が少し見えてきたと思いますので、今後もより良い議論をしていきたいと思います。以上で終了します。

閉会 午後8時35分